

# ちくま

No. 78  
2021.2.1

長野県千曲市



字がうまくなりますように…

1月4日(月)、八幡公民館では小学生の書き初め会を行いました。コロナ禍での開催でしたが、3年生から6年生の毛筆は30名の定員に達する応募がありました。短い時間の中で、全集中して書き上げました。

**特集 第25回更埴地区  
短詩型文学祭入賞作品紹介**

## 《主な掲載記事》

- 第25回更埴地区短詩型文学祭  
入賞作品 他…………… 2～4  
各公民館の活動報告…………… 5～7  
もっと知りたいふるさと…………… 8

## 第二十五回更埴地区短詩型文学祭入賞作品

一般の部、小学生の部、中・高校生の部で1312点の応募作品が集まりました。次に千曲市関係の入賞作品を紹介します。

一般の部、小学生の部、中・高校生の部で1312点の応募作品が集まりました。次に千曲市関係の入賞作品を紹介します。  
なお、作品集は各公民館でご覧ください。

### 第二十五回更埴地区 短詩型文学祭によせて

更埴公民館運営協議会長  
千曲市埴生公民館長

中島 秀治

その昔、更級・埴科地域には偉大な俳人・歌人が多く訪れております。山紫水明のこの地域には題材となる自然が豊富であつたため、訪れた俳人が思わず一句をしたためたと思われます。

回を重ねることに関心がまっていますが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式を断念いたしました。

余りでしたら、近年は各学校のご協力により小、中・高生からの応募が増え、二十五回目を迎えた今年は1300点を超えました。

選評  
水の張った田の畔に田植え用の早苗が来て折しも鶯の声が聞こえます。これから一年の農作業を始める心意気が感じられる一首。

### ◆佳作

埴生公民館 緑川 竹子

「研いでやる」我が愛用の肥後守言葉残して夫は逝きたり

埴生公民館 日詰 百合子  
涙拭く握り拳の少年が鮮やかに  
顕つ八月来れば

選評  
何の説明も必要なく朝の静かな田園にもやを裂く突如の威銃の爆音。一斉に飛び立つ雀の様子が目に見えます。

### ◆佳作

埴生公民館 日詰 百合子

秋に吸い込まれゆく今朝の鬱

上山田公民館 寺沢 弘子  
雪吊や静寂やぶる鐘一打

八幡公民館 佐藤 紀佐子  
蓮の香や朝日を浴びる六地蔵

屋代公民館 滝沢 武子  
恙なく暮れゆく母のどろろ汁

屋代公民館 岩井 邦子  
テレワーク書齋がほし、兔小屋

屋代公民館 宮沢 和子  
忘れないことは覚えている枕

戸倉公民館 中村 ゆきこ  
手秤は亡母の確かな目分量

### 俳句

◆更埴地区短詩型文学祭大賞  
上山田公民館 荒井 かほる  
朝もやを裂きて二発の威銃

趣味ひとつ生命線を太くする  
情ある句になっています。

### ◆更埴公民館運営協議会長賞 屋代公民館 高野 節子

お母さんが苦労して育ててくれたことに感謝を込めた作品です。作者が「我慢くるんだ」と母の苦労を簡潔に表現して、愛

情ある句になっています。

最初、作品の応募数は580点  
8年に第一回短詩型文学祭が開催されました。



### ◆短歌

◆更埴公民館運営協議会長賞

鶯の声のせながら早苗来て  
いよ今年も農が始まる

稻荷山公民館 宮崎 久子  
この地域において、短詩型文学祭が開催されることと

稻荷山公民館 宮崎 久子  
噴水に歡声上げる子どもたち梅雨の晴れ間の笑顔に会えた

稻荷山公民館 宮本 律子  
黙除けの網にからまる草払う厚鎌とぎて夫の出て行く

### 川柳

### ◆更埴地区短詩型文学祭大賞

貧しさの我慢くるんだ亡母の愛

稻荷山公民館 若林 勝子  
おとく萬葉歌風の歌の間にわたりたのめり

稻荷山公民館 若林 勝子  
8年に第一回短詩型文学祭が開催されました。

最初、作品の応募数は580点



## 小学生の部

### 短歌

#### ♦ 標語賞

五加小学校6年 大備 美月  
梅雨の朝晴れた青空見ながらも  
昇降口に四百の傘



#### ♦ 佳作

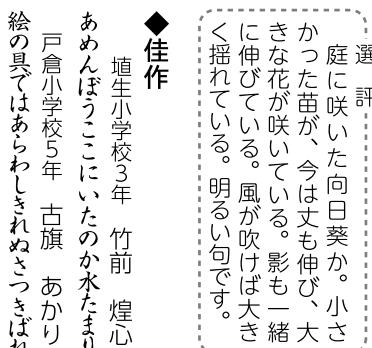
屋代小学校6年 赤澤 宗磨  
時忘れリモート通話夏祭り神社で  
はしやいだ去年の今頃

五加小学校6年 中村 文音  
紫の大きなつぶのブルーベリー鳥  
にはやらぬ私のものよ

### 俳句

#### ♦ 標語賞

埴生小学校3年 吾妻 紗彩  
ひまわりがかげといっしょにのび  
ていく



## 川柳

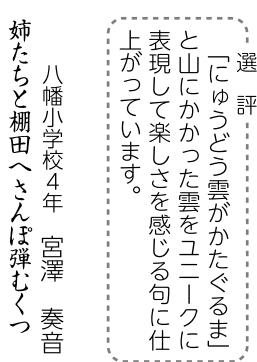
### ♦ 標語賞

八幡小学校4年 中澤 青飛  
かむりき山にゅうどう雲がかたぐ  
るま



#### ♦ 佳作

埴生小学校3年 竹前 煙心  
庭に咲いた向日葵か。小さ  
かつた苗が、今は丈も伸び、大き  
な花が咲いている。影も一緒に  
伸びている。風が吹けば大き  
く揺れている。明るい句です。



## 現代詩

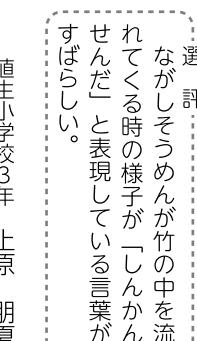
### ♦ 標語賞

埴生小学校3年 近藤 夕姫  
ながしそうめん

竹のなかでシュン  
シュンシュンシュンシュン  
マトもながれて

かわいいな  
つるつるつる  
おいしいな

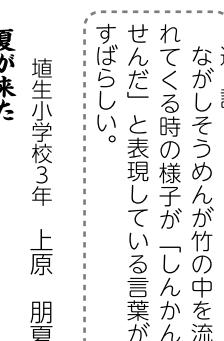
しんかんせんだ  
つめたいながしそうめん



いっぱいあつて  
楽しいな。  
あついんだ。

#### ♦ 佳作

八幡小学校4年 柳澤 樹  
お姉さんと棚田へ散歩に行つ  
た時の様子を「弾むくつ」と樂  
しさを表現し、散歩の描写が上  
手にできています。



夏はやっぱり  
あついんだ。

戸倉小学校5年 荒井 吾咲  
あめんぼうここにいたのか水たまり  
絵の具ではあらわしきれぬさつきばれ

戸倉小学校5年 古旗 あかり  
海の波の音

戸倉小学校5年 木内 るいか  
梅雨晴れや馬が生まれた小さいな  
ども

戸倉小学校5年 梅雨  
乗り越えなければいけないこの  
社会的な素材をユーモアを  
込め選びました。戦い抜く松沢  
さんの意志が見えます。

戸倉小学校5年 梅雨  
夏が来た  
わたしたのたん生日も  
いつしょに来た。  
夏の音も  
やつてきた。  
夏が来た。

戸倉小学校5年 梅雨  
夏の日にギラつく暑く光る汗  
いろいろな音と、  
いろいろな声

戸倉小学校5年 梅雨  
いろいろな音と、  
いろいろな声

いっぱいあつて  
楽しいな。

## 中・高校生の部

### 短歌

#### ♦ 標語賞

埴生中学校2年 宮澤 侑奈  
雨粒とバンドを組んだカエルたち  
今夜かぎりのスペシャルライブ



### 中・高校生の部

#### ♦ 標語賞

上原 明夏  
夏だけに聞く海の音や蝉の声、  
夏の季節を謳歌している作者の  
姿が、ありありと目にうかびま  
す。



作者が暮らしの中から見つけ  
た自然の奏でるライブ。その感  
動が伝わってきます。作者の視  
点と言葉がピッタリ一致して余  
す所なく詠われました。

## ◆佳作

埴生中学校2年 徳武 勇斗  
放課後に砂ぼこりまうグランンドは  
かけがえのない僕らの青春  
埴生中学校2年 松田 そら  
梅雨入り田舎の細道に地蔵さん  
ハッパのカサに水滴垂れる

## 俳句

## ◆奨励賞

埴生中学校3年 小林 裕斗  
雨ぼつり梅雨のにおいをただよ  
わせ



## ◆佳作



## ◆佳作

埴生中学校1年 高櫻 陽斗  
学校に行くとみんなが笑顔だね  
埴生中学校1年 浦澤 優希  
背に夕日部活帰りのやりがいよ

選評  
体校中の課題に追われている  
状態を「焦せる日々」と表現し  
不安な心情が表れています。

## ◆佳作



## ◆佳作

埴生中学校2年 高地 伸希  
椅子は鉄道が好きだ  
特に113系がとても好きだ。  
113系の中はとてもきれいで。  
何度も乗りたいな。

選評  
詩は言葉を使った表現である  
と言われていますが、そうした  
点からも「夜は豊かに表現され  
ています」。

## 現代詩

屋代中学校2年 酒井 乃々果  
どうしても眠れない日は  
夜を見ていた

夜  
雨の表情は季節とともに変  
わっていきます。梅雨の始まり  
を雨の匂いに感じ取った繊細さ  
が素晴らしいです。

夜  
夜の空気は  
私のからだの中で  
刹那に私を揺らす  
私の想いは

月明かりも流れ星も  
いつかは消えてしまう  
私はどちらにも  
触れることができなかつた  
休校中課題に追われ焦せる日々

## 川柳

## ◆佳作

埴生中学校3年 菅原 羽琉  
さあ行くぞ麦わら帽子網を持ち  
屋代高等学校1年 合津 弘菜  
聞き耳を立てて静かなハンモック  
が素晴らしいです。

川柳  
今もあなたの心に  
届かないまま

川柳  
現代詩の部  
7篇  
54句  
97句  
34首

投 稿 数  
(合計  
1312  
作品)

（一般の部）  
短歌の部  
俳句の部



（小学生の部）  
短歌の部  
俳句の部

现代詩の部  
川柳の部  
43篇  
67句  
673句  
254首

（中・高校生の部）  
短歌の部  
俳句の部

现代詩の部  
川柳の部  
2篇  
26句  
25句  
30首

第二十五回更埴地区短詩型文学祭  
一選者一

柳塚田 小宮山 青山 中村 竹内 青木 松林 米澤 神尾  
澄秀美 正雄 鉄風 哲風 哲乎 瞳夫 睦夫 のり子 義道 直子  
（中・高校生の部）  
短歌の部  
俳句の部



応募作品を審査していただいた先生方

## 令和3年千曲市成人式の延期について

令和3年1月9日(土)、10日(日)に開催を予定しておりました「千曲市成人式」は、全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大していることから、やむを得ず開催を延期することになりました。

なお、延期後の開催日については、改めてご案内いたします。

## ◆お知らせ◆

## 更埴地区4公民館(屋代・埴生・稻荷山・八幡)の減免申請について

令和3年度の公民館使用料の減免申請を2月15日(月)から3月5日(金)まで受け付けます。

詳細は上記の更埴地区4公民館にお問い合わせください。

※規定により減免にならない場合があります。

# 各公民館の活動報告

## お話と音楽のコンサート

埴生公民館長 中島 秀治



どんな絵本をつくったのかな

埴生公民館では、12月13日（日）、子どもたちの情操教育向上の一端をお手伝いできればと考え、子育て支援事業として、就学前や小学校低学年のお子さんを対象にした「お話と音楽のコンサート」を開催し、一足早いクリスマスを楽しみました。

お話を小林いせ子さんに、お話を田島仁さんにお願いしたこのコンサートは大変好評です。昨年は80人を超える親子が参加しましたが、今年は新型コロナウイルス感染対策として、人数を制限し感染防止には十分に注意を払いながら開催し、親子36人が参加しました。

コンサートは、オープニングに「はじまるよの歌」をピアノに合わせてみんなで歌い、次に「色でおはなし作るよ」と題して簡単なしかけた。

その後、「ちいさなサンタまちにいく」と「ふしぎなキャンディー」やさんの絵本を小林さんに読んでいただきました。また、田島さんのピアノ演奏にあわせて「ジングルベル」や「あわてんぼうのサンタクロース」を歌ったり、アンパンマンの手遊びをしました。

師走の日曜日のひと時、お子さんと一緒に楽しく過ごしました。



はじめの一歩

## 「ノルディックウォーク」に参加して

上山田温泉 山口 芳子

私は、昨年の2月に転倒し手首を骨折してしまい1ヶ月程の入院の後、体力の衰えや腰痛などで歩くことが困難になってしまいました。

そのような時に、えびす学級で、「ノルディックウォーキング」の講習会が開催されるとのことで、参加しようか迷いましたが、思い切って受講しました。

まず、ポールの高さを調整してもらうことから始まりました。自分の身長にあわせて調整し、それからポールを使つての準備運動、正しい姿勢で歩く練習がありました。

## 「花札大会」に参加して

上山田温泉 伊熊 利江

12月2日（水）えびす学級

「花札大会」に2度目の参加をさせてもらいました。

昔は家族全員で暮れからお正月は決まって花札を楽しんでいました。夜遅くまで、勝った！負けた！とワイワイガヤガヤ大騒ぎしたものでした。

時間が立つのも忘れ花札に興じたことを久しぶりに思い出しました。夜遅くまで、勝った！負けた！とワイワイガヤガヤ大騒ぎしたものでした。

地元の方といつも楽しみながら、笑い、おしゃべりをし、脳の活性化と運動不足解消のため、せつせと通っています。

本当にありがとうございました。

今、世の中はコロナウイルスで大変なことになっています。一人ひとりが健康に気をつけ、コロナに負けないよう元気で過ごしたいものです。

下を見ず、目線は前方を見つめ、腕を前に出すように指導されました。普通に歩くよりポールを使って歩くと歩幅も伸びます。



花札で脳を活性中

戸倉公民館  
親子で味噌玉を作ろう！



楽しく！親子で味噌玉作り

11月7日(土)、郷土の食文化を学びながら、親子のふれあいと学びの機会を提供する家庭教育支援事業として、昔からの食文化を継承し広める活動をしている「かけはしの会」の方々を講師に迎え、「親子で味噌玉作り会」を戸倉創造館で開催しました。

味噌玉とは、北信や東信の食文化で、味噌にだしと具材を混ぜて、団子状にこねた保存食で、携帯もできます。食べたいときに、お湯をかけると簡単に美味しい味噌汁ができる�니다。

講師の鎌田美和子さんが作り方を解説した後、参加した7組18名の親子が、思い思いに作業を行いました。

味噌玉を作った後は「かけはしの会」による「味噌の作り方講座」のDVDを見たり、実際に桶に入っている実物の味噌も紹介し、親子が興味深く見ていました。

本来なら、皆さんで味噌の仕込み作業から体験していたただく予定でしたが、コロナ禍で中止することになりました。代わりに、今回は講師の一人である小松たつ子さんが事前に仕込んでくださった味噌を使わせていただきました。

コロナ禍であっても、三密を避けるなど安全に配慮しながら、郷土料理教室を続けていくことを考えています。

上山田公民館  
「上山田子ども未来塾」に参加して

力石 柳澤 花菜

私は上山田子ども未来塾に参加して本当に良かつたと思っています。

歴史や数学に限らず他の教科でも必ず答えを導き出していく必要があります。さらに、未来塾はとても楽しいです。先生方はいつも笑顔を絶やさずや



地域の皆さん方が先生です

稻荷山公民館  
しめ縄に願いを込めて

私は、昨年4月から稻荷山公民館で職員として働いています。



子ども未来塾への意気込みを発表

八幡公民館  
5年生がしめ縄作り

お正月にちなんだ行事を各館で開催

さしく接してくださり、「勉強は面倒臭い」という考えは一切なくなります。

私はそんな先生方のおかげで、初めて勉強が楽しいと感じることができました。

私の苦手な歴史と数学、どちらも何度も問題をやつても理解が難しいところがあります。しかし、上山田子ども未来塾に通い、考え方が大きく変わりました。歴史は人物、年号、その時代に起きたことを端から覚えようとしていました。しかし、未来塾では人物、年号、起こったことを照らし合わせて覚えることで、考えがまとまりました。

数学ではプリントを10枚程度用意してくださり、その中から選んでやることで、自分の苦手なところが見つかり、良い勉強方法を探し出すことができます。

綿糸を作っています。材料になる稻わら・松・南天などは指導者の方々に提供していました。

終了後、5年生の児童から「なかなか経験できないことを教えてもらいありがとうございました」とお礼の言葉があり、指導者の皆さんもうれしそうでした。

縄を作ることがはじめての子どもたち。力を入れて押さえながらねじるのですが、なかなかうまくはいきません。1人で押さえられない子どもは、ねじる反対側を友だちに持つてもらいたながらねじりました。指導者は1グループに1人ずつ入り、手取り足取り指導していましたが、どうしてもうまくいかないこともあります。そんな時は「神の手」があつという間にきれいな縄が出来上がりました。

ごぼう縄めは2本作り、松にくくり付け、紙垂（紙飾り）としめ縄作りをしました。行事は、地域の方6名に指導をお願いし、リースとごぼう

綿糸を作っています。材料になる稻わら・松・南天などは指導者の方々に提供していました。

ごぼう縄めは2本作り、松にくくり付け、紙垂（紙飾り）としめ縄作りをしました。リースは紅白の南天や松、紙垂などをそれぞれが工夫して飾り付けました。

わらの金色、松の美しい緑と、南天の鮮やかな朱色の実が引き立つしめ縄を、大掃除も済んだピカピカの公民館入った。



新型コロナ退散を祈念して！



しめ飾り完成！良い年になりますように…

そんな年の瀬、例年館長が公民館の玄関に飾るしめ縄飾りを作っていますが、今年は、新型コロナウイルスの早い終息を願い、職員全員で作ることになりました。

棚田のわら、大田原の松、館長の庭の南天を材料に使い、わらをすぐるところから教わりました。最初は、わらが全然しまっていかず、お手本を見ながらまさしく悪戦苦闘。苦労してやつとの思いで完成させることができました。

コロナ禍で、公民館行事の縮小・中止が続き、またマスク姿ということもあり、なかなか皆様の顔と名前が覚えられず、失礼も多々あつたかと思ひます。

そんな年の瀬、例年館長が公民館の玄関に飾るしめ縄飾りを作っていますが、今年は、新型コロナウイルスの早い終息を願い、職員全員で作ることになりました。

12月12日(土)、今年もしめ飾り講習会の日がきた。昨年も参加したのですが、なにせ生まれて初めての事で「縄をなう」という言葉がピンとこない先生の教えと手つきをマネながらの作業でした。

上山田公民館  
「しめ飾り講習会」に参加して  
戸倉 村上 純子

り口に飾り、新たな年を迎える準備ができました。  
今年も、まだまだ不安は尽きませんが、各行事に応じた感染予防対策の工夫を重ね、地域の皆様にご協力をいただきながら、公民館行事を通じてご期待に応えられるよう努力してまいります。

そして1年が過ぎ今年もその日がやってきましたが、1年前の事はすっかり忘れてしまいました。また1年生スタートです。初めて参加する人、毎年参加する人、それぞれの思いで私は昨年同様縄をなうことできず悪戦苦闘の末、やはり先生に助けてもらひながらやつと作ることができました。結果、自己満足できるしめ飾りを作りました。

いろいろな公民館行事に参加させていただき、この地域に住んで本当に良かったと思ひます。

そして皆さん、コロナに負けず、手洗いを忘れず！がんばりましょう！

1月4日(月)、八幡小学校の児童を対象にした書き初め会を開催しました。八幡公民館の書き初め会は、1・2年生も硬筆で参加します。

指導は成人講座などでもお世話になっている杉浦さん・春口さん・高木さんにお願いしました。

1月4日(月)、屋代小学校と東小学校の3年生から6年生の児童を対象とした新春恒例「書き初め会」を屋代公民館講堂で開催しました。

わらの金色、松の美しい緑と、南天の鮮やかな朱色の実が引き立つしめ縄を、大掃除も済んだピカピカの公民館入った。

のびのび書けました

1・2年生は硬筆です。  
上手に書けたかな？

上山田公民館  
「書き初め会」を開催  
書の上達を願い



のびのび書けました

今年も、地元の書道家である、書象会の近藤静志先生に指導をお願いし、「筆の使い方」「文字のバランスのとり方」及び「書き方」を丁寧に教えていただきました。

先生は、今児童に人気の「鬼滅の刃」のアニメのセリフを例えにして「全集中し、呼吸を整えて、字を書きましょう！」とあります。

参加した児童は、お手本をしっかりと見ながら、のびのび字一文字を書き上げていましたが、中には躊躇することなくのびのびと書き上げる児童もいました。

昨年まで硬筆で参加していた3年生は、長い半紙に四苦八苦しながら力強い字を書き上げました。

よく書けたもののうち1枚を公民館の発表会で展示する予定です。

完成した作品を前にした児童の満面の笑顔が印象的でした。

※「館報ちくま」及び「もつと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

## もつと知りたい ふるさと

78

### 宮内墨斎翁について

皆さん、水墨画家の宮内墨斎をご存知ですか？

宮内墨斎は、文化8年（1811年）1月8日、現在の千曲市中区中村神社の神主、能登正政辰の嫡男として生まれました。

幼少の頃より絵画を得意とし、戸倉の宮本虎杖庵八朗や上州富岡の佐藤墨渓らに師事しました。さらに、切磋琢磨せんと師を求め、宮内家の隣人で墨斎の名付け親である飯島淳子翁に伴われ上京。当時の画壇の大御所である谷文晁の門を叩きました。

文晁は墨斎の筆画を試したところ、既に一家を成していると非常に高く評価し、墨斎はその名を世間に轟かせました。

町水墨画の伝統を踏ました山

水人物画、神仙図等が主に描かれています。墨斎の作品は中区を中心に多くの家に残されていて、中でも徳応院所蔵の「寒山拾得図」は逸品と言われています。



寒山拾得図 軸（徳応院蔵）



虎渓三笑図 六曲一双屏風（部分）（徳応院蔵）

長じて、父の神職を継ぐ傍ら、ますます画墨の道に没頭し、修業の旅に出ることも度々ありました。郷里に落ち着くと、この地に「画遊楼」を開きました。

「画遊楼」は、中村（千

曲市中区）の公民館が建設されるまで、「做千館」

または「俱楽部」などと称して村人の教養文化

向上のため交流の場として使われてきました。

門人を始め村人や

近郷の人々と共に風雅の道に遊び、その墨斎の教えを受けた創立された「天狗会」は今も続いている。

墨斎の水墨画の画題は、室

年）2月22日にこの世を去りました。享年57歳でした。  
墨斎没後125年を期に有志が集まり実行委員会を組織し、「遺墨展」を開催するとともに記念誌を刊行しました。

その時より28年が経ち、現在は没後153年になります。実行委員としてご苦労した坂口俊雄氏と飯島正章氏の両氏はすでに亡くなっています。

墨斎の子孫の宮内武猪氏は、中区の地蔵堂墓地にある墨斎のお墓を、現在も大切に供養されています。

墨斎の墓（徳応院地蔵堂墓地）

淳子翁が「画遊楼」の完成を祝った和歌です。いつか後世の人々が、この「画遊楼」で自分たちのことをしのんでくれるのだろうという解釈がなされています。

【参考文献】  
（中 坂口宗正）  
宮内墨斎没後125年記念  
「宮内墨斎展図録」



墨斎の墓（徳応院地蔵堂墓地）

## 編集後記

### 1年最初の公民館報にはこの何年も成人式が大きく取り上げられた。新成人の晴れやかな笑顔、初々しい決意が新春によく重なっていた。

### 今年は、直前まで準備が進みながらコロナ禍で千曲市も成人式が延期に追い込まれてしまつた。今にして思えば、1年前の1月の小さな記事

1年最初の公民館報にはこの何年も成人式が大きく取り上げられた。新成人の晴れやかな笑顔、初々しい決意が新春によく重なっていた。

今年は、直前まで準備が進みながらコロナ禍で千曲市も成人式が延期に追い込まれてしまつた。今にして思えば、1年前の1月の小さな記事となる若者には特に強いのではないかとあるまいか。しかし、学びを続け、視野を広め、この「地球丸」のたくましい構造手に期待するものである。

（戸倉・M）